

このたびは弊社製品をご採用いただきありがとうございます。

製品の特性を十分に活かし、安全に美しく仕上げるために、施工の前に必ず本説明書を一読ください。

開梱時に、万一、梱包や製品に傷等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。

本説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で事故・部材の損傷等の問題が生じた場合は、保証をいたしかねますのでご注意ください。

独自に施工検証をしている場合に限り、その方法で施工していただいても構いませんが、弊社での責任は負いかねます。

安全上のご注意 表示方法

■表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。



警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。



禁止

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。



注意

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、注意を喚起するためのものです。



強制

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。



警告



強制

1. 接着剤には健康に有害な物質を含有していますので、作業場所の換気を充分に行ってください。
使用前に接着剤容器に記載されている、安全に関する注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。
2. 施工完了後、引き渡し前に必ず工事管理者の安全点検を受け、不良箇所については補修してください。



注意



禁止

1. 施工に釘は使用しないでください。
床暖房用として使用する場合、誤って床暖房パネルに釘を打つと水漏れやトラブルの原因になります。
2. 本製品は日本国内一般住宅(屋内)の上履き用です。
土足用としては使用しないでください。
3. ワックスフリーの製品のため、ワックスがけは必要ありません。
ワックスがけを行うと、艶などの質感が変わるうえ、製品本来の抗菌性能や耐傷性能が発揮されなくなります。

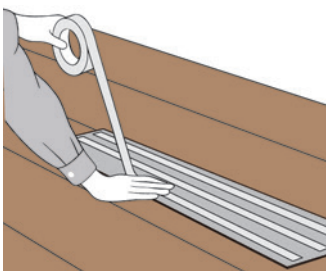
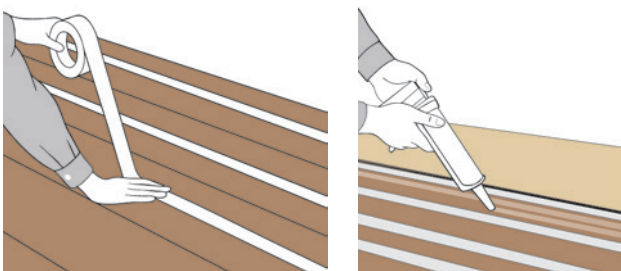
※誤った施工や取り扱いにおける苦情、返品、お取り替えには応じかねます。

〈お願い〉5ページに「フローリングの美装作業手順・注意事項」を掲載しています。施工完了後、美装会社様にお渡しください。

■ 施工の前に

施工手順は施工対象の床面(これ以降、下地と表記いたします)によって異なります。

また、使用する施工部材も異なります。

		A	B
下地		遮音直貼り木質床材(マンション直貼り)	木質床材(木造戸建て・マンション二重床)
施工部材	下地への貼り付け	 製品裏面に専用の両面テープを貼り付けてください。 ※詳細は3ページ以降をご確認ください。	 下地に専用の両面テープを貼り付け、専用の接着剤を塗布してください。 ※床暖房仕上げの上や水まわりに施工する場合以外は接着剤の塗布は不要です。 ※詳細は4ページ以降をご確認ください。
	両面テープ	カバーリエ専用両面テープ RT-10(厚さ1.1mm×幅10mm×10m巻) ・標準使用量 約1坪/7巻	カバーリエ専用両面テープ RT-36(厚さ0.17mm×幅36mm×50m巻) ・標準使用量 約2坪/1巻
	接着剤	不要	カバーリエ専用接着剤 ES-UB(変成シリコーン樹脂系 760ml/1本) ・標準塗布面積 約1坪/1本 ※床暖房仕上げ材の上や水まわりに施工する場合以外は不要

1 本製品の取り扱い

- 直射日光は避けてください。
- 開梱後速やかに施工してください。
- 本製品は薄型で欠けや折れが起きやすいため、取り扱いにはご注意ください。
- 本製品はリングの上に水平に保管してください。(立てかけたり、地面に直接置かないでください。)

2 道具の準備

- 専用の両面テープと接着剤
1ページの表に記載しています。
- カッターナイフ、定規、サンドペーパー、ペンチ

使用しない!

- ・ 専用以外の両面テープ ・ 専用以外の接着剤 ・ 釘

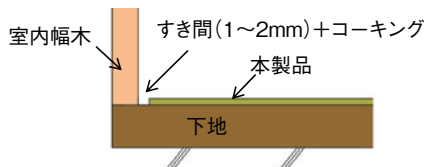
3 下地

- 下地表面にワックスが塗布されている場合、完全に除去してください。
- 下地表面にホコリやゴミなどの異物がないように清掃してください。
- 下地が下記条件を満たしているかご確認ください。
 - ・ 現時点で床鳴りが発生していないこと。
→ 床鳴りが発生している場合、床鳴り防止剤の塗布や釘打ちでの固定など、適切な処置を行ってください。
 - ・ 十分に乾燥していること。(含水率14%以下)
→ 乾燥していない場合、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。
 - ・ 不陸が0.3mm以内であり、下地が木質床材の場合、幅反りは床材の幅が303mm以上の時は1mm未満、303mm未満の時は0.5mm未満であること。
→ 基準値以上の不陸や反りがある場合、パテ埋めやサンダー等で調整してください。
- 施工不可な下地条件
下記の下地条件の場合、本製品の破損、浮き、はがれ、床鳴り等の不具合が発生する恐れがあるため、施工はしないでください。
 - ・ 床暖房パネル、根太、二重床下地への直接施工
※ 上記の下地の上に合板の捨て貼りが可能な場合、厚み12mm以上の合板を捨て貼りすることで本製品を施工することができます。
 - ・ コンクリートスラブへの直接施工
 - ・ 表面に凹凸、クッション性のある下地
(例：カーペット、クッションフロア、畳、タイル)
 - ・ リフォーム用上貼りフローリングへの施工
 - ・ 著しく腐食・劣化している下地

4 既存室内幅木の取り外し

- 施工前に既存の室内幅木を取り外してください。
- ※ 室内幅木の取り外しができない場合、室内幅木との間に1~2mmのすき間をあけて、コーキング材ですき間を埋めてください。
- ※ 不陸吸収部材(スカート)付き室内幅木の場合、コーキングできないため、必ず取り外してください。

室内幅木の取り外しが
できない場合



5 仮並べ

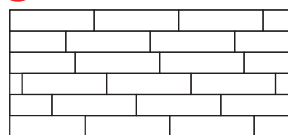
- 施工前に仮並べを行い、色柄のバランスを考慮して割り付けてください。

6 割り付け

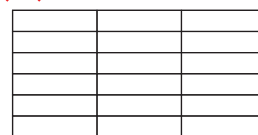
- 貼り順は短辺・長辺ともにメスザネ側を手前にして、壁に向かって左隅からの施工が基本です。
- 短辺ジョイント部が下地のジョイント部と重ならないように割り付けてください。
※ 下地の動きに同調し、表面にすき間が生じる恐れがあります。
- 壁際は2~3mmのすき間をあけてください。
- 本製品と下地の長辺方向をあわせて貼ることをお勧めします。
- 短辺ジョイント部同士が隣り合わせにならないよう、バランス良くずらして割り付けてください。
※ 200mm以上ずらして施工することをお勧めします。
- 貼りは方眼貼りを基本とします。平行貼りは行わないでください。



乱尺貼り

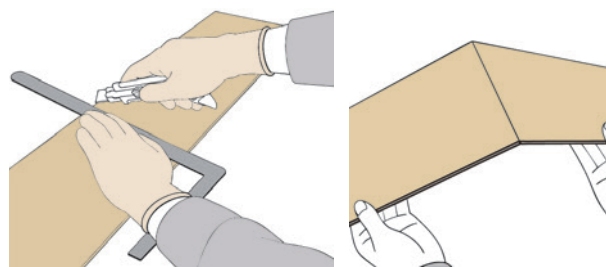


平行貼り

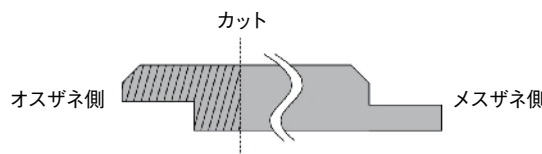


7 カット方法

- ① 表面にカッターナイフで切れ目を入れてください。
- ② 切れ目を曲げて折ってください。



- ③ 次に裏面側からカッターナイフを当てて、裏面のシートを切ってください。
※ 貼り始めの1枚目は短辺・長辺ともにメスザネ側が手前になるようにカットしてください。



- ※ カット寸法が短く、手では折れない場合、ペンチ等で折ることができます。
- ※ 刃物の取り扱いには充分にご注意ください。
- ※ 切断部は必要に応じて、サンドペーパーをかけてください。

■ 施工手順

A 遮音直貼り木質床材下地(マンション直貼り)の場合

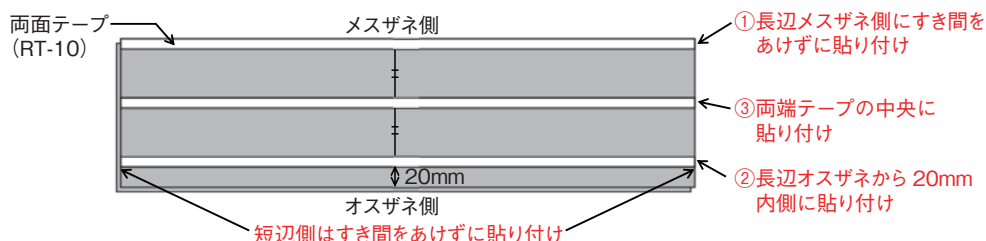
1 墨出し

- 貼り始めの位置に墨出しを行ってください。

2 両面テープ貼り

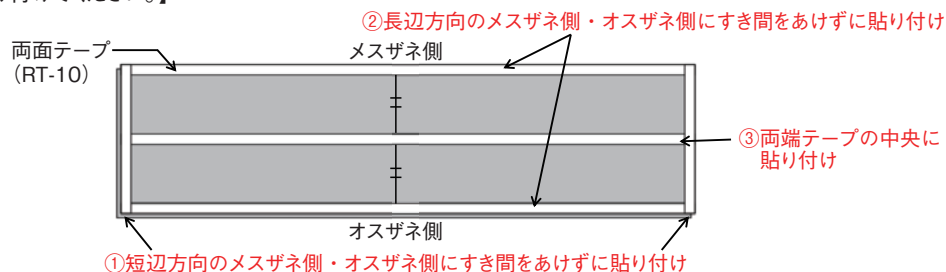
- 製品裏面に下図のように両面テープ(RT-10)をしっかりと貼り付けてください。

- ① 長辺方向のメスザネ側にすき間をあけずに1列貼り付けてください。
- ② 長辺方向のオスザネ側から20mm内側に1列貼り付けてください。
- ③ 両端のテープの中央に1列貼り付けてください。

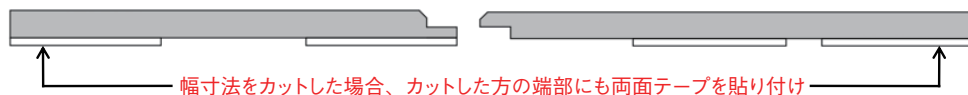


【水まわりに使用する場合は下図のように貼り付けてください。】

- ① 短辺方向のメスザネ側・オスザネ側ともにすき間をあけずに貼り付けてください。
- ② 次に長辺方向のメスザネ側・オスザネ側ともにすき間をあけずに貼り付けてください。
- ③ 長辺方向の両端テープの中央に1列貼り付けてください。



- 幅寸法をカットした場合、カットした方の端部にも両面テープを貼ってください



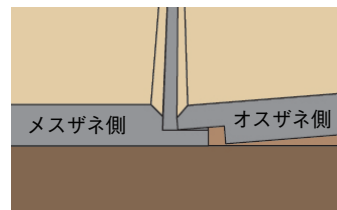
- 両面テープにはゴミが入らないように注意してください。
- 貼り位置のずれなどで両面テープの貼り直しが必要となった場合、貼り済みの両面テープははがして、新しい両面テープに貼り替えてください。
- ※ 一度はがした両面テープは粘着力が落ちるので、再使用しないでください。
- 両面テープ同士が重ならないようにしてください。

3 貼り始め

- ① 2.で製品裏面に貼った両面テープの剥離紙をはがしてください。
 - ② 壁際は2~3mmのすき間をあけて、1.貼り始め位置の墨出し線に合わせて下地に貼り付けてください。
 - ③ 足で踏んで下地と十分に圧着させてください。
- ※ 十分に圧着していないと段差や床鳴りの原因となります。

4 2枚目以降の施工

- 2枚目は1枚目の短辺メスザネに2枚目の短辺オスザネを乗せてから貼り付けてください。
- 2列目以降は短辺・長辺ともにメスザネにオスザネを乗せてから貼り付けてください。
- ※ サネを乗せてから貼ることで位置ずれを防止できます。
- 貼り位置のずれやサネ重なり等がないことを確認して、足で踏んで下地と十分に圧着させてください。
- 貼り位置のずれやサネ重なり等で貼り直しが必要となった場合、貼り済みの両面テープははがして、新しい両面テープに貼り替えてください。
- ※ 一度はがした両面テープは粘着力が落ちるので、再使用しないでください。
- 貼りじまいについても貼り始めと同様に壁際は2~3mmのすき間をあけてください。



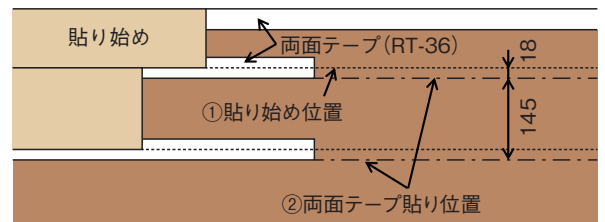
5 室内幅木の取り付け

- 室内幅木は必ず本製品施工の後で施工してください。
- 室内幅木は部屋周辺部の床と壁のすき間が隠れる程度の厚さのものを使用し、部屋の周辺部のすき間を隠すように施工してください。

B 木質床材下地 (木造戸建て・マンション二重床) の場合

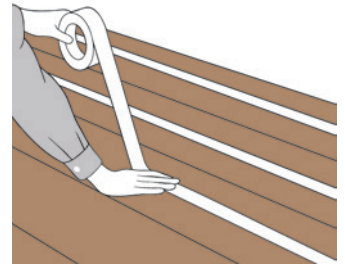
1 墨出し

- ① 貼り始めの位置に墨出しを行ってください。(-----線)
- ② 両面テープの貼り位置をわかりやすくするために、貼り始めの位置から18mm (両面テープ36mm幅の中央) 手前側に墨出しを行ってください。(-----線)
- ③ ②の墨出し線から145mmピッチで墨出しを行ってください。



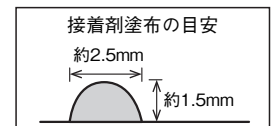
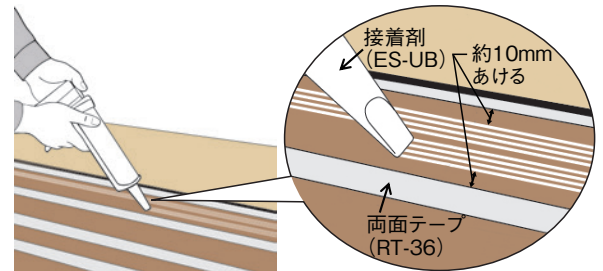
2 下地に両面テープ貼り

- ① 下地の壁際に両面テープ (RT-36) をしっかり貼り付けてください。
 - ② 両面テープ貼り位置に合わせて、下地に両面テープ (RT-36) をしっかり貼り付けてください。
 - 両面テープと下地との密着を良くするために、放射温度計などで下地の表面温度15℃以上であることを確認してください。
 - 両面テープにはゴミが入らないように注意してください。
 - 両面テープ同士が重ならないようにしてください。
 - 貼り位置のずれなどで貼り直しが必要となった場合、貼り済みの両面テープははがして、新しい両面テープに貼り替えてください。
- ※ 一度はがした両面テープは粘着力が落ちるので、再使用しないでください。



3 接着剤の塗布

- ※ 床暖房仕上げ材の上や水まわりに施工する場合以外は不要です。
- ① 接着剤 (ES-UB) に同梱のノズルを取り付けてください。
 - ② 両面テープから約10mmあけて、平行に2列塗布してください。
- ※ 一度にたくさん塗布せず、本製品の1列分ずつ塗布してください。
- 接着剤が製品表面に付着した場合は、乾いたウエス、シンナーやアルコール (水は不可) を染み込ませたウエスを使用してすぐに拭き取ってください。
- ※ 水拭きの場合は、表面に接着剤が残り、ムラや汚れの原因になる可能性があります。

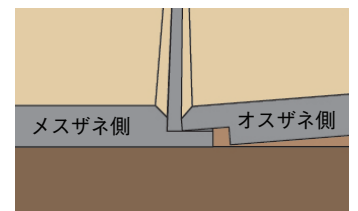


4 貼り始め

- ① 2.で製品裏面に貼った両面テープの剥離紙をはがしてください。
 - ② 壁際は2～3mmのすき間をあけて、貼り始め位置の墨出し線に長辺メスザネ側を合わせて下地に貼り付けてください。
 - ③ 足で踏んで下地と十分に圧着させてください。
- ※ 十分に圧着していないと段差や床鳴りの原因となります。

5 2枚目以降の施工

- 2枚目は1枚目の短辺メスザネに2枚目の短辺オスザネを乗せてから貼り付けてください。
 - 2列目以降は短辺・長辺ともにメスザネにオスザネを乗せてから貼り付けてください。
- ※ サネを乗せてから貼ることで、接着剤のはみ出しや位置ずれを防止できます。
- 貼り位置のずれやサネ重なり等がないことを確認して、足で踏んで下地と十分に圧着させてください。
 - 貼り位置のずれやサネ重なり等で貼り直しが必要となった場合、貼り済みの両面テープははがして、新しい両面テープに貼り替えてください。
- ※ 一度はがした両面テープは粘着力が落ちるので、再使用しないでください。
- 貼りじまいについても貼り始めと同様に壁際は2～3mmのすき間をあけてください。



6 室内幅木の取り付け

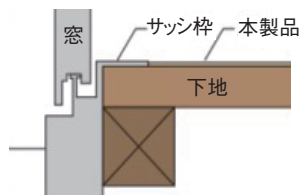
- 室内幅木は必ず本製品施工の後で施工してください。
- 室内幅木は部屋周辺部の床と壁のすき間が隠れる程度の厚さのものを使用し、部屋の周辺部のすき間を隠すように施工してください。

納まり

【本製品が低い場合
(例：サッシ枠、ドア枠等)】

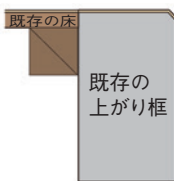
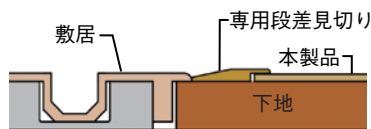
- 突き付けて納めることができます。

例) サッシ枠との納まり



【本製品が高い場合(例：敷居、上がり框等)】

- 専用の段差見切りをご使用ください。
 - 上がり框には専用の後付け上がり框をご使用ください。
 - 本製品のカット面の面取りを行い、突き付けて納めることもできます。
- ※面取り部の基材色が気になる場合、永大木質建材用補修液等で着色を行ってください。



※ 段差見切りおよび後付け上がり框の施工については、各製品の施工説明書をご覧ください。

段差見切りの施工方法



後付け上がり框の施工方法



養生

- 本製品は貼り付け直後より通常に歩行はできますが、接着剤を使用した場合は下記内容を守って使用開始してください。

- ・ 貼り付け後5時間以内は走る・飛び跳ねるなどの行為や重量物の設置は行わないでください。
- ・ 貼り付け後4日以内は床暖房は使用しないでください。

※ 養生期間を確保できないと接着剤の性能を損ないます。

- ・ 養生が必要な場合は床用養生シート(推奨品：弊社専用品「エイダイ養生シート」)および床用養生テープ(現場調達)を使用して、表面を保護してください。

工事店様へ 本説明書を美装会社様にお渡しください。/ 美装会社様へ 美装作業前に本説明書をご一読ください。

フローリングの美装作業手順・注意事項

■クリーニングについて

引き渡し前のクリーニングに際しては下記事項を遵守してください。

【クリーニングの手順】

- ① ホウキ、掃除機などで床材表面のゴミなどを取り除きます。
- ② 床面以外の箇所(幅木、沓摺、壁など)を養生します。
- ③ 洗剤(中性)を希釈した洗剤液を作ります。
- ④ 洗剤液を含ませたモップまたは雑巾を固くしぼり、床材表面を洗剤拭きします。
※洗剤で除去しきれないこびりついた汚れ等の付着物は、床に傷をつけないように注意して除去する。
- ⑤ 床材表面の洗剤が乾かないうちに、きれいな水を含ませたモップまたは雑巾を固くしぼり、2回以上水拭きを行います。
- ⑥ 乾いたきれいなモップまたは雑巾でから拭きを行います。
- ⑦ 床材表面を充分乾燥させます。

〈誤った掃除で汚れてしまった場合の対処法〉

汚れた水を繰り返して使用したり、モップで水溶性の樹脂類(例：壁紙のり、石膏ボード補修パテ)が、石膏ボード粉、木粉等を巻き込みながら塗り広げられて乾燥した場合、拭きムラやくすみ、手跡や足跡が生じます。その場合も上記の手順でくり返し洗浄してください。

■ワックスについて

ワックスフリー製品のため、ワックスがけは必要ありません。

ワックスがけを行うと、艶などの質感が変わるうえ、製品本来の抗菌性能や耐傷性能が発揮されなくなります。お客様の都合によりワックスがけを行う場合、下記の点にご注意ください。

【樹脂ワックス塗布方法】

- ・ ワックスは下記のフローリング用樹脂ワックスを使用してください。
- ・ 他のワックスはトラブル(はじき、はがれ等)の原因になります。

製品名	メーカー名
ハイテックフローリングコート(高光沢)	(株)リンレイ
ハイテックフローリングコートつや消し20(低光沢)	

- ① 樹脂ワックスを入れた容器の下にはビニールシートなどを敷いて、床材表面を保護してください。
- ② ワックス塗布専用モップに樹脂ワックスを含ませて、しずくが落ちない程度にしぼってください。
- ③ 床材表面に薄くムラなく(均一に)塗布してください。床材の目地にワックスが溜まらないように塗布してください。
- ④ 樹脂ワックスを塗布した床材表面を充分に乾燥させてください。

※塗布後ぬれた状態では送風機による強制乾燥はしないでください。

※送風機は、表面が乾燥してから使用してください。

【樹脂ワックス作業時の注意事項】

- ・ 以下の場合は樹脂ワックス塗布は避けてください。
室温、床材表面、樹脂ワックスの液温が5℃以下の場合。
直射日光により床材表面が高温になっている場合。
雨天などで湿度が高い場合。
床面がぬれている場合。
- ・ 樹脂ワックスを床材表面に直接撒き散らしたり、モップから垂らすことは避けてください。床材が膨れたり、シミになる原因になります。

詳細はカタログ「フローリング・室内階段・壁材」に「フローリングの美装作業手順・注意事項」を掲載していますので、作業前にご一読ください。弊社ホームページのデジタルカタログで確認いただけます。

- ・ 工事完了後は雨水等にぬれないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水にぬれた場合はすぐに拭き取ってください。ぬれたまま放置すると、寸法変化、シミ、膨れなどのトラブルの原因になります。

永大産業株式会社
www.eidai.com

建材事業部商品部 商品一課

お客様相談センター

0120-685-110

受付時間 平日 9:00~17:00

(休業日) 土曜日、日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

S1260Ke2605keEP 第1版